

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公表番号】特表2010-500380(P2010-500380A)

【公表日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-001

【出願番号】特願2009-524004(P2009-524004)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/24 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 16/24 Z N A

C 1 2 N 5/00 B

C 0 7 K 16/46

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 31/12

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 S

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月6日(2010.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ATCCアクセッション番号PTA-7778を有するハイブリドーマによって産生される抗IFN抗体と本質的に同じIFN エピトープと結合する抗体。

【請求項2】

抗体が、ATCCアクセッション番号PTA-7778を有するハイブリドーマによって産生される抗IFN 抗体と同じエピトープと結合する、請求項1に記載の抗体。

【請求項3】

抗体が、インターフェロナルファ（“IFN ”）タンパク質サブタイプA、2、B2、C、F、G、H2、I、J1、K、4a、4b及びWAから成る群から選択される少なくとも2つのタンパク質サブタイプの生物活性を選択的に中和するが、INF タンパク質サブタイプDの少なくとも1つの生物活性は有意には中和せず、前記生物活性が、MxAプロモーターの活性化又は抗ウイルス活性であり、

任意に、抗体が、少なくとも8つのIFN タンパク質サブタイプを選択的に中和し、及び

更に任意に、抗体が、IFN タンパク質サブタイプA、2、B2、C、F、G、H2、I、J1、K、4a、4b及びWAの生物活性を選択的に中和するが、INF タンパク質サブタイプD及び1の生物活性は有意には中和しない、

請求項1又は2に記載の抗体。

【請求項4】

抗体が、以下から成る群から選択される1/2最大有効濃度（EC₅₀）でIFN タンパク質サブタイプの生物活性を選択的に中和する、請求項1から3のいずれかに記載の抗体：

a) 約300ng/mL未満のIFN タンパク質サブタイプA、2、B2、C、F、G、H2、I、J1、4a、4b及びWA；及び

b) 約375ng/mL未満のIFN タンパク質サブタイプK。

【請求項5】

抗体が、前記IFN サブタイプの生物活性の少なくとも50%を中和し、前記生物活性がMxAプロモーターの活性化であり、

任意に、抗体が前記生物活性の少なくとも60%を中和し、

更に任意に、抗体が前記生物活性の少なくとも70%を中和し、

更に任意に、抗体が前記生物活性の少なくとも80%を中和し、及び、

更に任意に、抗体が前記生物活性の少なくとも90%を中和する、

請求項1から4のいずれかに記載の抗体。

【請求項6】

抗体が、IFN -Aに対して少なくとも約 1.5×10^{-9} Mの親和性を有する、請求項1から4のいずれかに記載の抗体。

【請求項7】

抗体が、マウス抗体、ヒト抗体、ヒト化抗体、キメラ抗体又は抗体フラグメントであり、及び、

任意に、抗体がモノクローナル抗体である、

請求項1から6のいずれかに記載の抗体。

【請求項8】

抗体が、モノクローナル抗体ACO-2のヒト化型又はキメラ型を含み、又は、

任意に、抗体がモノクローナル抗体ACO-2である、

請求項7に記載の抗体。

【請求項9】

抗体が抗体フラグメントであり、

任意に、抗体フラグメントが、Fab、Fab'、F(ab')₂、Fv又はscFvフラグメントを含む、

請求項1から8のいずれかに記載の抗体。

【請求項10】

ATCCアクセッション番号PTA-7778を有するハイブリドーマによって産生される、抗インターフェロナルファ（“IFN ”）モノクローナル抗体。

【請求項11】

請求項10に記載のモノクローナル抗体のヒト化型。

【請求項12】

請求項 1 0 又は 1 1 に記載のモノクローナル抗体の抗体フラグメントであって、
任意に、抗体フラグメントが、Fab、Fab'、F(ab')₂、Fv又はscFvフラグメントを含む、
前記抗体フラグメント。

【請求項 1 3】

請求項1から 1 2 のいずれかに記載の抗体をコードする核酸を含む宿主細胞であって、
任意に、宿主細胞がハイブリドーマである、
前記宿主細胞。

【請求項 1 4】

モノクローナル抗体ACO-2を産生するハイブリドーマであって、
任意に、ハイブリドーマが、ATCCアクセッション番号PTA-7778を有する、
前記ハイブリドーマ。

【請求項 1 5】

IFN タンパク質サブタイプA、2、B2、C、F、G、H2、I、J1、K、4a、4b及びWAから成る
群から選択される少なくとも1つのIFN タンパク質サブタイプの異常発現に付随する疾患
又は症状を、対象者でIFN タンパク質サブタイプDの生物活性を中和することなく治療す
るための医薬組成物であって、

請求項1から 1 2 のいずれかに記載の抗体の有効量を含み、

前記生物活性がMxAプロモーターの活性化又は抗ウイルス活性である、

前記医薬組成物。

【請求項 1 6】

疾患又は症状が、全身性紅斑性狼瘡（SLE）、宿主対移植片病（GVHD）、I型糖尿病、エ
イズ、狼瘡、乾癬、及び自己免疫甲状腺炎から成る群から選択される、請求項 1 5 に記載
の医薬組成物。